

令和5年度 東彼杵中 学校評価アンケート 集計結果

項目	評価内容	令和5年度										令和4年度					分析	
		生徒		保護者		教職員		学校運営協議会		全体		分析	生徒	保護者	教職員	全体		分析
		平均	前年比較	平均	前年比較	平均	前年比較	平均	前年比較	評価	平均		平均	平均	平均	評価		
学校・先生	① 継 学校は、子どもの姿を通して東彼杵中として統合した成果を出している。	3.1	→	3.1	→	3.2	↗	3.4	3.2	↗	○	地域とともにある学校を目指し、地域の人材や教材を活用するなどの取組は一定の評価を得ている。わかりやすい授業を目的とした授業改善についてはまだ課題がある。校内研修や授業研究を実施し、生徒がわかった・できたといえる授業づくりを推進したい。	3.1	3.1	3.0	3.1	○	統合後3年経過し、徐々にではあるが、保護者の中にも統合後の成果が実感されつつある。地域との連携（キャリア教育）や職員による授業改善が充実しつつあると考えられる。今後もこの取組をさらに深化していきたい。
	② 継 学校は、良質の教師を目指し授業改善に取り組んでいる。	3.0	→	2.9	↘	3.3	→	3.3	3.1	→	○		3.0	3.0	3.3	3.1	○	
	③ 継 学校は、学校の教育方針などをわかりやすく伝えている。	3.1	→	3.0	→	3.5	↗	3.3	3.2	→	○		3.1	3.0	3.4	3.1	○	
	④ 継 先生方は、地域の人材や教材を活用するなど学校・家庭・地域との連携教育に努めている。	3.2	→	3.1	→	3.7	↗	3.0	3.3	→	○		3.3	3.2	3.5	3.3	◎	
	⑤ 継 先生方は、生徒に対して中学生の成長として必要な指導に取り組んでいる。	3.2	→	3.2	→	3.5	↗	3.4	3.3	↗	◎		3.3	3.2	3.2	3.2	◎	
	⑥ 継 先生方は、わかりやすい授業を実践している。	3.1	→	2.9	↘	3.3	→	3.1	3.1	↘	○		3.1	3.1	3.4	3.2	◎	
子ども	⑦ 継 子どもたちは、地域でよくあいさつをしている。	3.1	→	2.9	↘	2.7	↗	3.3	3.0	→	△	生徒会であいさつ運動に力を入れているものの、地域におけるあいさつには課題が残る。今後は道徳などの授業で社会性について深化させていきたい。また、学校生活全体を通じて生徒のたくましさや表現する力を伸ばすような取組を実施していく必要がある。	3.1	3.0	2.6	2.9	△	課題としている「生徒の主体性」については、日々の授業や行事の中で、今後も育てていく必要がある。授業の中で対話を重視することで、豊かに表現する力の育成につながることも必要。「生きる力を育む」ための職員の意識改革も必要と考える。
	⑧ 継 子どもたちは、社会的なルールやマナーが身についている。	3.1	→	2.9	↘	2.5	↘	3.1	2.9	↘	△		3.1	3.1	2.8	3.0	○	
	⑨ 継 子どもたちは、心身を鍛え、たくましく成長している。	3.0	↘	3.0	↘	2.5	↘	3.5	3.0	↘	○		3.1	3.1	2.3	2.8	△	
	⑩ 継 子どもたちは、主体的に学ぶ姿勢が身につけている。	2.9	↗	2.7	↘	2.6	↘	3.3	2.9	→	△		2.8	2.9	3.0	2.9	△	
	⑪ 継 子どもたちは、協力して学習活動を進めることができている。	3.1	→	2.9	→	3.0	↗	3.1	3.0	→	○		3.1	3.0	2.9	3.0	○	
	⑫ 継 子どもたちは、豊かに表現する力がついてきている。	2.8	↘	2.9	↗	2.5	↘	3.3	2.9	→	○		2.9	2.8	2.6	2.8	△	
環境	⑬ 継 学校は、安全・安心に気を配り、環境が整っている。	3.0	↘	2.9	→	2.8	↗	3.3	3.0	→	○	ICT環境が整備され、授業におけるICTの効果的な活用が図られている。各教科の作品や総合的な学習の成果物、生徒の自己肯定感を高めるような掲示物など工夫した取組ができた。	3.1	3.0	2.8	3.0	○	一人一台PCが充実し、授業でのICTの活用が図られているが、職員間でも個人差がある。様々な場面で効果的に活用できるようさらなる研修が必要と思われる。
	⑭ 継 学校はタブレットや電子黒板等のICT機器環境が充実しよく活用している。	3.5	↗	3.4	→	3.6	→	3.6	3.5	→	◎		3.4	3.4	3.7	3.5	◎	
	⑮ 継 教室や廊下の掲示物は、よく工夫されている。	3.3	↗	3.2	→	3.4	↗	3.5	3.3	↗	◎		3.2	3.2	3.3	3.3	○	
	⑯ 継 教室は学校生活に関わる校内の仕組みの改善に取り組んでいる。	3.1	→	3.1	↗	2.8	↘		3.0	→	○		3.1	2.9	3.2	3.1	○	
	⑰ 継 学校は子どもや学校の様子などを地域や家庭に積極的に知らせている。	3.1	→	3.3	↗	3.5	↗	3.4	3.3	↗	◎		3.1	3.0	3.2	3.1	○	
対象者別総評価平均		3.10	→	3.03	↗	3.09	→	3.36	3.12	↗	○	3.12	3.05	3.07	3.08			

前年比較数	↗	3	↗	3	↗	10	↗	5	◎	4	→	◎	3.3以上	◎	4
	→	11	→	8	→	3	→	10	○	4	↘	○	3.1, 3.2	○	9
	↘	3	↘	6	↘	4	↘	2		8	↗	空欄	3.0(平均)		0
										3	↘	△	2.8, 2.9	△	4
										0	→	▲	2.7以下	▲	0

保護者様

「学校評価」へのご回答をいただきありがとうございます。ご協力に感謝いたします。結果と分析をまとめましたので公表いたします。

学校評価における生徒の意見としましては「校舎の内壁を補修してほしい」「校則が厳しい」などの意見が多く寄せられました。教職員からは「生徒が活動できる部屋が少ない」「以前に比べあいさつができていない」などの意見が、また保護者の皆様からは「卒業生の進路先の情報がほしい」「年末もスクールバスを運行してほしい」などの意見をいただきました。どの意見に対しても、教育委員会や本校教職員と連携を図りながら、改善していきたいと思っております。生徒の声を大切にし、保護者、地域の方々の声に耳を傾け、今後も生徒・保護者・地域にとって魅力ある学校づくりに邁進していく所存です。

また、体罰・不適切な指導のアンケート調査におきましては、生徒の話にしっかりと耳を傾け、丁寧な対応をしてほしいという意見や部活動時における生徒への発言についてご指摘をいただきました。顧問および外部指導者における生徒への言葉遣いについては細心の注意を図っていきたく思います。皆様からいただいたご意見については真摯に受け止め、本校の学校教育目標である「心豊かでたくましく、主体的に学ぶ生徒」の育成に向け「厳しく鍛え、優しく褒め、遅しく育てる」を通して改めて努力をしてまいります。

東彼杵町立東彼杵中学校 校長 正尾 敏